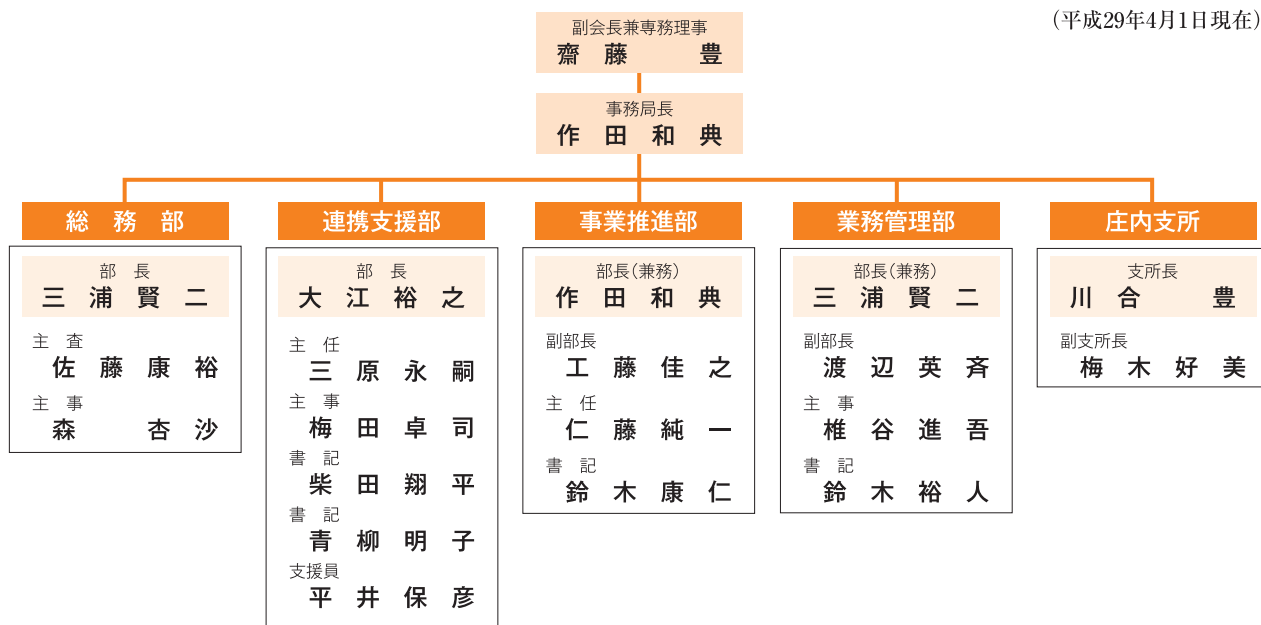


# 平成29年度 山形県中小企業団体中央会事務局組織図

(平成29年4月1日現在)



## 新規採用 職員紹介

### 事業推進部 書記 鈴木 康仁 (すずき やすひと)

4月より採用となりました鈴木康仁と申します。出身は山形市で、年齢は28歳です。まだまだ何もわからず、皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、一日でも早く組合の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



## Coffee break

### ●今年度から新規に～コーヒブレイク～を設けました。

Vol.1

内容は本会職員が自らを紹介するコーナーです。ぜひ一読ください!

## 青白の魂サポーター雑記 連携支援部長 大江 裕之

記念すべき第1回当番にあたり、大変光栄に存じます。

長年MONTEDIOと苦楽を共にした私にとって、2008年11月30日は特別な日となりました。1999年J2リーグ発足と同時に参入。以来10年間「J2の番人」と称され、国内最高峰の舞台に上がれない地方の弱小クラブが、悲願のJ1初昇格を果たす快挙を成し遂げたのです。2009年J1ホーム開幕はNHK総合で全国LIVE中継。季節外れの大雪が名門クラブを歓迎し、イレブンは無失点で気迫の勝ち点1を挙げました。

以来今日まで『山形』の文字が新聞紙面を賑わすことに快感を覚え、ホーム全試合参戦しNDスタに

足を運んでおります。サッカー文化がまだ根付かない本県において、青白の「つや姫」ユニフォームを着たおばあさん2人組が、田んぼの農道を自転車をこいでNDスタへやって来る姿は胸が熱くなります。我が家でも、父親が隔週末午後不在となること



に気づき始めた二女と長男と一緒に付いて来るようになり、今では女房を含めた3人を従えバックスタンドに陣取っています。

『底辺の拡大と地域密着』というJリーグの理念は、本会の活動方針・行動計画にも

相通じています。本会は指導員の世代交代の時期で大きく若返っており、若手養成に力を入れております。本紙愛読者(?)との連携と絆を深め、信頼を得る体制づくりを心がけています。